神奈川県

Healthcare New Frontier
KANAGAWA

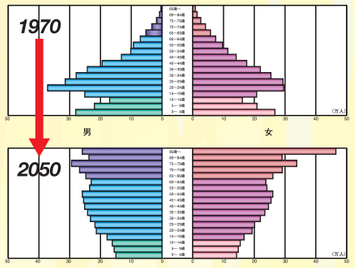
**ヘルスケア・ニューフロンティアは、超高齢社会の到来という急激な社会変化を乗り越え、
誰もが元気で長生きできる社会を目指す神奈川県が進めている政策プロジェクトです。**

超高齢社会を乗り越えるための2つのアプローチ

■ 超高齢化という急激な人口構造の変化

日本は世界でも最も高齢化が進んでおり、特に神奈川県は全国でも一、二を争うスピードで進んでいます。
神奈川県の年齢別人口推移のグラフを見ると、1970 年にはきれいなピラミッド型だったものが、2050 年には逆向きになってしまうことがわかります。
このようなかつて経験したことのない人口構造変化が押し寄せる中で、社会システムを維持していくために何をすべきかが問われています。
こうした変化を乗り越えるためには、中長期的な改革が必要です。

神奈川県の人口ピラミッドの変化



（出典）「神奈川グランドデザイン基本構想」（平成 24 年 3 月、神奈川県）

■ 最先端医療や最新技術の追求

iPS細胞のように、日本には世界をリードする基礎研究が多くあります。これを革新的な医療として実用化し、産業として育てます。その中心となるのが「京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区」や「さがみロボット産業特区」です。

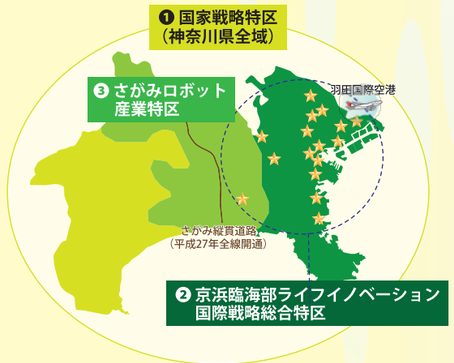
■ 未病の改善

「未病」は、ヘルスケア・ニューフロンティアの根幹となるコンセプトであり、心身の状態を「健康か病気か」といった明確に二つに分けられるものとしてとらえるのではなく、心身の状態は健康と病気の間で常に連続的に変化するものとしてとらえる考え方です。
「未病の改善」とは、心身の状態の変化の中で、特定の疾患の予防にとどまらず、心身をより健康な状態に近づけていくことであり、神奈川県では現在の状態だけでなく将来の状態を良くしていくために「未病の改善」に向けて県民の皆様が「行動変革」を起こしていただけるような取組みを進めています。

2つのアプローチを融合

健康寿命の延伸　新たな市場・産業の創出

3つの特区を生かし、国の成長戦略の先導的役割を担う。



◆ 再生・細胞医療の産業化拠点

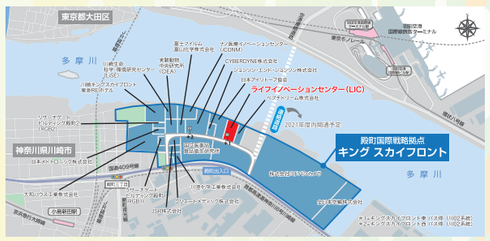
次世代の医療として大きな成長が期待される再生・細胞医療の産業化に向けて、「ライフイノベーションセンター（LIC）」が稼動しています。センターが位置する川崎市殿町地区は、最先端のライフサイエンス産業・研究機関が集積する地。センターではこうした集積も活かして、研究開発から事業化への取組みを加速化させ、再生・細胞医療の有望なシーズの実用化・産業化を目指していきます。

◆ 再生・細胞医療の産業化拠点として、事業化を支援

- 研究開発から品質管理、出荷まで再生・細胞医療の実用化・産業化に向けた、ワンストップ体制のフィールドを提供することで、ベンチャー企業の研究開発も支援。
- 国内外からの細胞の受託生産を行う事業者、再生医療等製品の早期薬事承認制度などを活用して市場化を目指す事業者、それを支える培地や機器・サービスといった周辺産業を担う事業者など、皆様の幅広いニーズに対し、神奈川県を中心に国内外の関係機関と強く連携したプラットフォームを構築。国家戦略特区なども活用して、効果的な支援を提供。

再生・細胞医療分野のベンチャー支援
ビジネス・インキュベーションで 30 年の実績を誇る（株）ケイエスピーが 4 階をベンチャーフロアとし入居事業者を支援。

オープンラボ
低廉な利用料で測定機器等を利用することが可能。また、入居事業者が提供するオープンラボも設置。

ヘルスケア・ニューフロンティア・ファンド
ヘルスケア分野を対象とした県主導のファンドによりイノベーションを生み出すベンチャー企業を創出・育成。（平成 30 年 3 月組成）

◆ 抜群の交通アクセスが、国内・海外での事業展開を後押し